

[関連略年表+参考資料]

1945年8月6日広島 9日長崎に原爆投下

死没者数 45年末までで広島14万人±1万人、長崎7万人±1万人

50年10月までで広島約20万人、長崎約14万人

(国勢調査) 約2万人

8月15日 ポツダム宣言受諾・大戦終結

9月19日 GHQ、プレスコード指令

10月24日 国際連合発足

1946年11月3日 日本国憲法公布。47年5月3日施行

1947年3月31日 教育基本法、学校教育法(6・3・3・4制)公布

1948年12月10日 国連総会「世界人権宣言」採択

1949年4月20日 平和擁護世界大会(パリ、プラーグ=プラハ)

4月25日 日本大会=東京家政学院講堂 平和を守る会準備会、50年2月27日結成

8月29日 ソ連初の原爆実験

11月3日 湯川秀樹ノーベル物理学賞

1950年3月19日 スtockホルム・アピール発表

核使用=戦争犯罪 平和を守る会と11/14

8月6日 GHQの方針で広島市の平和祭などの集会禁止。平和委、市内数か所で集会、デパート屋上か

らピラを撒く。
(ウツナスト、77年11月27日)

6月25日 朝鮮戦争勃発。 8月10日 警察予備隊令公布、施行

1951年4月11日 マッカーサー罷免

4月～5月 アメリカ、マーシャル諸島エニウェトク環礁で原爆実験

9月4日 対日講和会議=サンフランシスコ。8日、対日講和条約、日米安全保障条約調印。

10月26日 衆議院、両条約批准承認

10月2日 広島少年少女の作文集「原爆の子」刊行。峠三吉「原爆詩集」9月刊

1952年4月28日 対日講和（サンフランシスコ〈平和〉）条約、日米安全保障条約発効。GHQ廃止

8月6日 「アサヒグラフ」広島・長崎の原爆被爆写真を特集（増刷計52万部とも）

8月10日 広島「原爆被害者の会」結成

11月1日 アメリカ、エニウェトク環礁で初の水爆実験。53年8月12日、ソ連水爆実験

1954年3月1日 アメリカ、太平洋ビキニ・エニウェトク環礁で水爆実験、マグロ漁船第五福竜丸、実験による死の灰に被災・乗組員23人。ロンゴラップ環礁ほかマーシャル諸島島民被ばく。3月14日第五福竜丸焼津港に帰港。乗組員、共立病院で〈原爆症〉の疑いと診断。16日読売新聞スクープ。漁獲物から強い放射能検出、廃棄処分。乗組員、東京大学附属病院、国立東京第一病院に入院。――9月23日、第五福竜丸無線長久保山愛吉氏「放射能症」で死去、40歳。母しゅんさん、妻すず、3人の子（女子）がのこされた。

《原水爆実験禁止署名の展開》別紙資料参照

1955年8月6日～8日 原水爆禁止世界大会（第1回）＝広島市。14カ国、3国際団体52人の海外代表、46都道府県、97全国組織の代表2575人が参加

8月15日 原水爆禁止東京大会＝都体育館。原水爆禁止署名数全国集計3238万2104人と報告

9月19日 原水爆禁止日本協議会結成（原水爆禁止署名運動全国協議会と世界大会日本準備会が統合）

1956年8月9日 第2回原水爆禁止世界大会＝長崎（11日）瀬永亀次郎を団長とする沖縄県代表参加

8月10日 日本原水爆被害者団体協議会結成。第2回世界大会2日目の原水爆被害者全国大会で

[参考文献・資料]

『ドキュメント1945-1985 核兵器のない世界を』（原水爆禁止日本協議会、1987年）。『原水爆禁止運動資料集』第1期（緑陰書房、1995年）。『ふたたび被爆者をつくるな――日本被団協50年史』（あけび書房、2009年）。『第五福竜丸は航海中―ビキニ水爆被災事件と被ばく漁船60年の軌跡』公益財団法人第五福竜丸平和協会編（2014年）。『原水爆禁止署名運動の誕生』丸浜江里子著（凱風社、2011年）。『ビキニ水爆被災資料集』第五福竜丸平和協会編（東京大学出版会1976初版、2014年新装版）。『早川康弐 思想と軌跡』（同書刊行委員会・非売品、2011年）。『晴れた日に――雨の日に―広島・長崎・第五福竜丸とともに』山村茂雄著（現代企画室、2020年）